

# ケア経験者がいる安心

## 松本市今井に10月1日「雲のポケット」オープン



開所前の見学会を開いた雲のポケット(15日)

人工呼吸器や胃ろうなどを着けて、自宅で生活している子どもたちが増えているものの、中信地区では専門的に支援する事業所がなかった。病院を出てからの、生活支援の場所が求められていた。とりわけ、18歳を超え、養護学校を卒業した人たちの生活の場が限られていた。

「雲のポケット」は居室、入浴施設などがあり、1日の受け入れは5人、年末年始以外無休。就学前の子どもを対象にした発達支援、児童生徒の放課後デイサービス、学校卒業後の生活介護などを行う。ここに通えない子どもを対象に訪問介護、療育支援も行う。所長を務める林さんは、高校の体育教諭、養護学校の勤務を経て、看護師資格を取得し、重症心身障害児施設や養護学校高等部で指導した経験がある。「ここは県立こども病院や訪問看護で子どもに関わってきた専門家、子どもを亡くした親、障害のある子の親などが集まっているのが強み。こういう場所があることを知って、利用してほしい」と話している。

★塩尻市えんぱーく  
・ばそこん基礎講座  
10月1日午前10時～正午、塩尻市市民交流センターえんぱーく。似顔絵入り名刺を作成する。マウス操作と日本語入力ができる人対象。受講料400円、テキスト代1000円。  
託児は応相談。申し込みは講座名(開催日も)、住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレスを明記し、はがき(〒399-0073 塩尻市大門八番町4-1、メール chiyoko@shiyoko.net)に。NPO(教科書代)7500円、

## 重度障害の子どもの居場所に

重い障害のある子どもたちのデイサービスや発達支援を行う事業所「雲のポケット」が10月1日、松本市今井にオープンする。人工呼吸器を装着するなど医療的ケアを必要とする赤ちゃんから大人までを受け入れる。重症心身障害児のケアの経験があるスタッフが働き、相談支援事業所、訪問看護ステーションも併設する。(井上裕子)

なかつた。病院を出てからの、生活支援の場所が求められていた。とりわけ、18歳を超え、養護学校を卒業した人たちの生活の場が限られていた。

「雲のポケット」は居室、入浴施設などがあり、1日の受け入れは5人、年末年始以外無休。就学前の子どもを対象にした発達支援、児童生徒の放課後デイサービス、学校卒業後の生活介護などを行う。ここに通えない子どもを対象に訪問介護、療育支援も行う。所長を務める林さんは、高校の体育教諭、養護学校の勤務を経て、看護師資格を取得し、重症心身障害児施設や養護学校高等部で指導した経験がある。

した古畑智教さん(24、松本市神林)は、平日は成人の通所施設などを利用しているが、週末は行く場所がない。週末も利用できる「雲のポケット」はありがたい、と家族は話している。

雲のポケット ☎88・2028

028

ホテルモンターニュ松本×亀田屋酒造店 コラボ企画

# 日本酒と料理を 楽しむ宴

## 業実現セミナー

20時間コース 【地方創生推進交付金対象事業】 特定創業支援の認定対象セミナーです

行政・商工会・専門家が全面サポート

業を目指す皆様を応援します。 必要な基礎知識を学び、ビジネスプランの作成を行います。